

自民党県連政務調査会による団体要望 個別ヒアリングが行われる

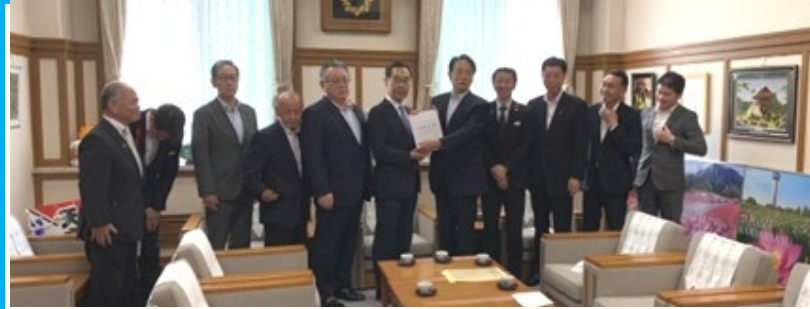


▲自民党県議団政務調査会の文教部会長として、幼稚園・小中高の関連団体から要望を受ける武内県議(9月18日)

自民党埼玉県支部連合会では、県内各種団体から令和3年度県予算への要望について9月18日から9月29日にかけて個別ヒアリングを行いました。これは毎年度実施されているもので、本年度はコロナ対策関連の要望が多くあり69団体となりました。

自民党県連は、これら団体の声を来年度予算に反映させるよう県に要望しました。

自民党県議団が政策大綱を 知事に提出



自民党県議団は、県の令和3年度予算と施策へ反映を求める336項目からなる政策大綱を知事に提出しました。この大綱の提出は毎年行っています。来年度については、特にコロナウイルス関連の要望項目が増加しました。

総括的事項として、新型コロナウイルス感染症対策や、デジタル化の実現に向け社会全体でのデジタルトランスフォーメーション(DX)の実相を加速する「生産性革命」の推進を掲げました。(10月13日)

武内まさふみの活動日誌

要望活動

■飯能県土事務所への要望

武内県議は毛呂山町長と共に、昨年の台風第19号による毛呂山町内の河川被害箇所について、早期改修整備を所長に要望しました。(7月10日)



▲河川被害箇所の早期改修を要望

■JRへSLの運行再開を要望

本年春、高崎駅～寄居駅にSL列車を走らせる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策に伴い残念ながら中止になりました。そこで、川越線・八高線沿線活性化議員連盟はJR高崎支社を訪問し、八高線沿線活性化の起爆剤となるSL列車の令和3年度運行再開を要望しました。この要望に応え、JRは来年度運行を再開する予定で準備を始めました。(8月3日)



▲JR東日本高崎支社にて

■新川越越生線の建設促進を要望

新川越越生線建設促進期成同盟会の3市2町の首長と武内県議をはじめとする県議会議員7名により、知事に対して本バイパス整備の必要性を訴えるとともに、早期の整備を要望しました。(10月16日)



▲知事公館にて橋本副知事に要望書を手渡し

■工事現場確認

飯能県土整備事務所の職員と共に、豪雨による河川の護岸崩壊箇所や川床の状況などを確認しました。(7月28日)



▲毛呂川の護岸崩壊箇所(毛呂山町平山地区)

■埼玉県環境審議会への出席

本年度第1回の審議会では、令和3年度に5年の計画期間が終了する「埼玉県環境基本計画」の見直し日程及び方法が承認されました。また、改訂版の見直し視点などについて、様々な意見が出されました。(9月10日)



▲環境審議会の様子

■県政報告第36号の配布

県議会開催後に毎回発行している県政報告を武州長瀬駅及び東毛呂駅で配布しました。(7月27日)



▲マスク、手袋をして配布

■防犯のまちづくり街頭キャンペーン

防犯のまちづくり推進議員連盟が主催して、浦和駅において、自転車盗難への防止を訴えました。(10月12日)



▲道行く人にチラシを配布(浦和駅東口)

■赤い羽根共同募金キャンペーン

今年は新型コロナウイルス感染症対策として、羽を胸に付ける代わりにマスク入りの赤い羽根を配布しました。募金は例年に比べて少ない状況でした。(10月1日)



▲大野知事と議連で実施(浦和駅西口)



▲越辺川の河川改修予定地の河床(毛呂山町吉林地区)